

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年4月17日(2008.4.17)

【公開番号】特開2006-319752(P2006-319752A)

【公開日】平成18年11月24日(2006.11.24)

【年通号数】公開・登録公報2006-046

【出願番号】特願2005-141216(P2005-141216)

【国際特許分類】

H 04 N 1/19 (2006.01)

H 04 N 1/04 (2006.01)

G 06 T 1/00 (2006.01)

H 04 N 1/40 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/04 1 0 3 E

H 04 N 1/04 1 0 1

H 04 N 1/04 1 0 5

H 04 N 1/12 Z

G 06 T 1/00 4 2 0 B

H 04 N 1/40 1 0 1 Z

【手続補正書】

【提出日】平成20年3月4日(2008.3.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

原稿から原画像を読み取るための複数個の読み取り素子が主走査方向に沿って1列に並べられたラインセンサを有する線形読み取り手段と、

前記線形読み取り手段と一体化され前記原稿にマーク用の光を照射するためのマーク用光源と、

前記原稿に対する前記線形読み取り手段と前記マーク用光源との相対位置を前記主走査方向に垂直な副走査方向に沿って移動させる移動手段と、

前記原稿・前記マーク用光源間に介在し、補正用画像を投射により前記原稿に付加させる補正用画像付加手段と、

読み取られた原画像において前記移動手段の移動速度のばらつきに基づく歪みを前記補正用画像を用いて補正する補正手段と

を備える画像読み取り装置。

【請求項2】

請求項1に記載の画像読み取り装置であって、

前記補正用画像付加手段は、前記光の経路を遮断あるいは変更することにより前記補正用画像を前記原稿に付加させる

画像読み取り装置。

【請求項3】

請求項1又は請求項2に記載の画像読み取り装置であって、

前記線形読み取り手段および前記マーク用光源ならびに前記補正用画像付加手段は前記原稿の表面側に配置される

画像読み取り装置。**【請求項 4】**

請求項 1 又は請求項 2 に記載の画像読み取り装置であって、
前記線形読み取り手段は前記原稿の表面側に配置され前記マーク用光源および前記補正用画像付加手段は前記原稿の裏面側に配置される
画像読み取り装置。

【請求項 5】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の画像読み取り装置であって、
前記移動手段は、前記線形読み取り手段を前記副走査方向に沿って移動させるためのステージおよび前記ステージを駆動するためのモータを有する
画像読み取り装置。

【請求項 6】

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれかに記載の画像読み取り装置であって、
前記移動手段は、前記原稿を前記副走査方向に沿って移動させるためのドラムおよび前記ドラムを回転させるためのモータを有する
画像読み取り装置。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の画像読み取り装置であって、
前記補正用画像付加手段は、環状に配置され前記ドラムと一体に動作する
画像読み取り装置。

【請求項 8】

請求項 1 乃至請求項 7 のいずれかに記載の画像読み取り装置であって、
前記光に代えて粒子を用い、前記マーク用光源に代えてマーク用粒子照射源を用いる
画像読み取り装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る画像読み取り装置は、原稿から原画像を読み取るための複数個の読み取り素子が主走査方向に沿って1列に並べられたラインセンサを有する線形読み取り手段と、線形読み取り手段と一体化され原稿にマーク用の光を照射するためのマーク用光源と、原稿に対する線形読み取り手段とマーク用光源との相対位置を主走査方向に垂直な副走査方向に沿って移動させる移動手段と、原稿・マーク用光源間に介在し、補正用画像を投射により原稿に付加させる補正用画像付加手段と、読み取られた原画像において移動手段の移動速度のばらつきに基づく歪みを補正用画像を用いて補正する補正手段とを備える。